

カーボンニュートラル時代の 自動車用パワートレインを考える

ハイブリッド
形式

講習内容

- (1)xEVとは？
- (2)将来燃料とは？
- (3)内燃機関はどうなるのか？
- (4)将来燃料として有望な合成燃料
を使い続けるための研究例紹介
「エンジン燃焼による粒子状物質(PM)生成に関する研究」



開催日時 2026年3月6日(金)13:00~16:30

開催場所 日本大学生産工学部津田沼キャンパス 38号館201室
千葉県習志野市泉町1-2-1
※Zoomとのハイブリッド開催講 師 秋濱 一弘 日本大学生産工学部
環境安全工学科・特任教授

講習概要

蒸気自動車は1769年、電気自動車は1873年、ガソリン自動車が誕生したのは1886年。パワートレインは内燃機関一択ではありませんでした。現在はさながら自動車黎明期の様相を呈しています。カーボンニュートラルという目標のもと、電動化が進んでいます。ただし内燃機関車からバッテリーEVへ一足飛びに移行できる国や地域は限られています。特に日本のメーカーは地域ごとの諸事情に応じて、多様なパワートレインを並行して提供する「マルチパスウェイ戦略」を重視しています。そこで本講習会では、今後の自動車用パワートレインを考えるうえでの基礎知識の獲得を目的としています。紹介される機会の少ない粒子状物質に関する研究事例も加えた構成としました。初学者が対応できる講習を心がけます。

受講料

17,500円 一般の方

14,000円 協賛学会員(自動車技術会、日本機械学会)
※当センター賛助会員は1口につき3名様まで無料

募集定員

30名程度

申込期限

3月4日(水)まで

申込フォーム

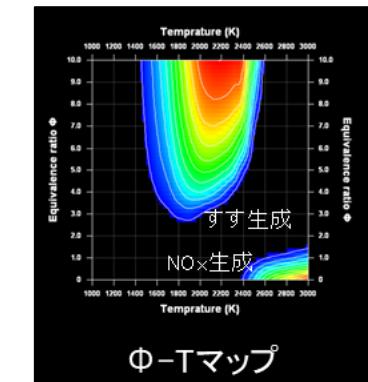
<https://forms.office.com/r/Cy1DKG6WDa>

問合せ先

日本大学生産工学部

自動車工学リサーチ・センター(NU-CAR)

phone 047-474-3188

E-mail cit.nu-car.info@nihon-u.ac.jpHP <https://nu-car.cit.nihon-u.ac.jp/>

↓申込フォーム

